

要旨

(一) 全國労働ハ中心勢力タル金屬労働ノ本大會ニ於テ愈々マルキシズムヲ指導精神トセルコトヲ明ニセリ、議案中ノ一日ソ不侵略條約締結促進ニ關スル件ハ兩國間ノ關係ニ就テ速ベタルノミニアラスシテ、インテラナシヨナリスムヲ奉ゼルモノナルコトニ就テ又一第二次世界戦争反對ノ件ハ反戦運動ヲ企圖セルモノナルコトニ於テ其他ノ諸事ト併セテ之ヲ証スルモノト講フベシ

(二) 國內的經濟運動トシテハ特ニインフレーション對策ニ努力ヲ傾倒ス。

(三) 大會最後ノ役員任命ニ於テ盛田文治ノ常任辭任問題ヲ中心トシテ、鐵心支部聯ガ退職シタルコトハ、

(四) 盛田ハカネテ大矢ト親交アリ、大矢ノ國社轉向後盛田モ當然之ニ走ルモノト一般ニ豫想サレ居リシガ尙全勞ニ踏ミトドマ